

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成28年12月28日(2016.12.28)

【公開番号】特開2016-165283(P2016-165283A)

【公開日】平成28年9月15日(2016.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2016-055

【出願番号】特願2016-46742(P2016-46742)

【国際特許分類】

A 24 B 13/00 (2006.01)

A 24 B 15/18 (2006.01)

【F I】

A 24 B 13/00

A 24 B 15/18

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月9日(2016.11.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

水とタバコ材料の混合物をスラリーの形態で用意するステップ、

混合物を低温殺菌するのに十分な温度および時間で混合物を加熱するステップ、

スラリーのpHをアルカリ性pHまで上昇させるのに十分な塩基量をスラリーに添加し、それによってpH調整混合物を形成するステップ、

前記添加ステップに続いて、pH調整混合物のpHが少なくとも約0.5pH単位低下するのに十分な温度および時間でpH調整混合物の加熱を続行し、それによって、処理されたタバコ材料を形成するステップ、

乾燥タバコ材料の全重量に対して、約15重量%以下の水分含量までスラリーを乾燥させるステップおよび

無煙タバコ製品内に処理されたタバコ材料を組み込むステップ

を含む、無煙タバコ組成物として使用するのに適したタバコ組成物を調製するための方法。

【請求項2】

タバコ材料の水分含量を少なくとも約25重量%まで上げるのに十分な量で乾燥タバコ材料に1つ以上の風味料および追加の水分を添加するステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

周囲温度までpH調整ス混合物を冷却し、pH調整混合物が、冷却ステップを開始する時点で少なくとも約8のpHを有するステップをさらに含む、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

水およびタバコ材料を含むスラリーを用意し、スラリーがスラリーの全重量に対して少なくとも約75重量%の水を含むステップ、

タバコ材料を低温殺菌するのに十分な時間、少なくとも約60の温度までスラリーを加熱するステップ、

スラリーのpHを少なくとも約8.5まで上昇させるのに十分な塩基量をスラリーに添加し、それによってpH調整スラリーを形成するステップ、および

前記添加ステップに続いて、スラリーのpHが少なくとも約0.5pH単位低下するのに十分な時間、少なくとも約60の温度までpH調整スラリーの加熱を続行するステップを含む、請求項1から3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項5】

前記加熱ステップの前に、スラリーに塩を添加するステップをさらに含む、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

塩を添加する前記ステップが、タバコ材料の乾燥重量に対して約1から約5重量%の塩化ナトリウムを添加するステップを含む、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

前記冷却ステップ中またはその後に保湿剤を添加するステップをさらに含む、請求項3に記載の方法。

【請求項8】

前記添加ステップが、少なくとも約9までスラリーのpHを上昇させるのに十分な塩基を添加するステップを含む、請求項1から3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項9】

水、タバコ材料および塩の混合物をスラリーの形態で用意するステップ、
タバコ材料を低温殺菌するのに十分な温度および時間で混合物を加熱するステップ、
少なくとも約8.5までスラリーのpHを上昇させるのに十分な塩基量をスラリーに添加し、それによってpH調整スラリーを形成するステップ、および
前記添加ステップに続いて、pH調整混合物のpHが少なくとも約0.5pH単位低下するのに十分な温度および時間でpH調整混合物の加熱を続行し、それによって、処理されたタバコ材料を形成するステップ
を含む、請求項1から3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項10】

水およびタバコ材料を含むスラリーを用意し、スラリーがスラリーの全重量に対して少なくとも約80重量%の水を含むステップ、

タバコ材料を低温殺菌するのに十分な時間、少なくとも約70の温度までスラリーを加熱するステップ、

スラリーのpHを少なくとも約9まで上昇させるのに十分な塩基量をスラリーに添加し、それによってpH調整スラリーを形成するステップ、

前記添加ステップに続いて、スラリーのpHが少なくとも約0.5pH単位低下するのに十分な時間少なくとも約60の温度までpH調整スラリーの加熱を続行するステップ、および

周囲温度までpH調整スラリーを冷却し、pH調整スラリーが、冷却ステップを開始する時点で少なくとも約8のpHを有するステップ

を含む、請求項1から3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項11】

水およびタバコ材料を含むスラリーを用意し、スラリーがスラリーの全重量に対して少なくとも約80重量%の水を含むステップ、

少なくとも約30分間、少なくとも約70の温度までスラリーを加熱するステップ、

少なくとも約9.5までスラリーのpHを上昇させるのに十分な塩基量をスラリーに添加し、それによってpH調整スラリーを形成するステップ、

少なくとも約1.5時間、少なくとも約60の温度までpH調整スラリーの加熱を続行するステップ、

周囲温度までpH調整スラリーを冷却し、pH調整スラリーが、冷却ステップを開始する時点で少なくとも約8のpHを有するステップ、

前記冷却ステップ中またはその後にpH調整スラリーに保湿剤を添加するステップ、および

湿潤タバコ材料の重量に対して、約15重量%未満までタバコ材料の水分レベルを減少

させるのに十分な温度および時間で pH 調整スラリーを乾燥させるステップ
を含む、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の方法。